

指定管理者管理運営状況調書

1.指定管理者・施設の基本情報

令和 8 年 7 月 3 0 日

指定管理者名	株式会社 チューキョー P & G	担当課	商工観光課
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 1 0 年 3 月 3 1 日	選定方法	公募・非公募(任意指定)
施設名	うすずみ特産販売所	施設の種類	観光等施設
所在地	本巣市根尾門脇 4 3 3 番地		
設置根拠条例等	本巣市うすずみ特産販売所条例 本巣市うすずみ特産販売所条例施行規則		
設置目的・役割	うすずみ特産販売所業務仕様書 3. 指定管理の対象となる管理施設の設置目的による		
実施事業	道の駅事業		

2.施設の概要

土 地	敷 地 面 積	1,600 m ²			駐車場台数		3 9 台	
	借 地 面 積	－	契約期間	－		賃 借 料	－	
建 物	設 置 形 態	市所有	契約期間	指定期間と同じ		賃 借 料	－	
	建 物 の 内 容	道の駅（道路情報館・公衆便所）、うすずみ特産販売所、そば処、ファストフード売店						
	主要な建物の 建 築 年 月	平成 5 年			取得時期	平成 5 年		
	延 床 面 積	474.56 m ²		構 造	木造		階 数	1 階
	耐 震 基 準	未実施	耐震診断	－	耐震補強	－	I S 値	－
	ユニバーサル デ ザ イ ン 化 状 況	一部実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手 す り	障がい者用 ト イ レ	そ の 他
			無	無	有	無	有	－
	大 規 模 修 繕 実 施 状 況	無						
	留 意 事 項	無						

3.管理・運営の現況

開館日数	2 9 0 日	休館日	月曜日	開館時間	9:00～16:00
職員数等 管理体制	駅長（1 人）、責任者（1 人）、直売施設・ファストフード・そば処（4 人）、 そば処（専属 1 人）、				

4.施設の維持管理コスト等

市の収支状況	(単位:千円)		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	指定管理導入前
	支出	支出合計	3,893	3,240	4,024		
		人件費	0	0	0		
		修繕料・工事請負	591	0	217		
		光熱水費	843	804	709		
		委託費・指定管理	2,302	2,331	2,884		
		賃借料	25	25	29		
		その他	132	80	185		
	収入	収入合計	172	196	451		
		使用料・手数料	0	0	0		
		その他業務収益	0	0	0		
		業務関連収益	172	196	451		
指定管理者の収支状況	(単位:千円)		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	支出	支出総合計(a+b)	9,215	11,589	12,588		
		支出合計(a)	9,215	11,589	12,588		
		人件費	4,156	5,572	4,854		
		事業費	3,200	4,053	5,711		
		維持補修費	0	41	0		
		光熱水費	1,027	1,191	1,091		
		保守点検等委託費	660	554	522		
		その他	172	178	410		
		自主事業支出(b)	0	0	0		
	収入	収入総合計(c+d)	8,064	10,298	10,989		
		収入合計(c)	8,064	10,298	10,989		
		指定管理料	0	0	0		
		利用料金	7,168	9,341	9,839		
		その他	888	889	889		
		自主事業収入(d)	8	68	261		

5.施設の利用状況

		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度		指定管理導入前	
開館日数		291		290		290					
利用件数		－		－							
利用者数		23,295		24,165		23,168					
定員		－		－							
部 屋 別 稼 働 率	名称	－				平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%		夜間	%	計		%	
	名称	－				平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%		夜間	%	計		%	
	名称	－				平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%		夜間	%	計		%	

6.事業の実施状況

事業の実施状況	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

7.指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	道の駅の施設運営のノウハウを用いた事業展開により、道の駅利用者のニーズに沿ったイベント等の事業の実施が可能となった。 地元利用者に合わせ日配品などの仕入れを増やし、地域に求められる道の駅づくりを行っている。
コスト面	燃料費の高騰は避けられないものの、マルチスタッフ化の指導による複数業務の兼務など効率を考えた営業活動により人件費を抑制することなどで支出を抑え、計画よりも収支が改善している。
利用者数・稼働率	令和6年度の利用者実績は、24,165人で、令和5年度の23,295人を上回っているものの、淡墨桜開花時期の影響が大きく、利用者数は、前指定管理者が運営を開始したコロナ前の平成30年度と比較して8千人程度少ないことに加え、客単価も下回っている。 令和6年度については、大雪や道路の通行止発生等の影響も大きく受けている。
事業実施状況	積極的にイベントへの参加を行っており、特産品の宣伝を行うなど当初の事業計画を概ね実施し、自主事業が適正に実施されている。
地域との協働等	地元の特産物を使用した新商品の開発や地元団体との協力販売を行うほか、本巢市のイベントへの積極的な出店など、地域との連携・協働によるまちづくりに配慮した事業が実施された。
その他	